

久留米の自然

久留米の自然 104号 2009年4月1日

撮影場所：

カンボジア・シェムリアップ近郊

撮影年月日：2009年3月1日

撮影者：河内俊英



サトウヤシ

河内 俊英

東南アジアには多くの種類のヤシがありますが、その1つにサトウヤシがあります。サトウヤシは、マレー半島が原産で、現在は広く東南アジアで栽培されています。熱帯雨林に生え、高さ12～20メートルくらいにもなります。通常のヤシの実のなるココヤシとは少し異なり、シュロに似ています。乾燥に強く半砂漠のような土地にも良く育ちます。雌雄異株であり、雌株に花が咲く前のツボミ段階で先端を切断して樹液を集め、また雄花をしぼって樹液を集め、あわせて煮詰めて砂糖

をつくります。樹液採取は、以前は竹筒でしたが、最近ではペットボトルも使われています。集めた樹液は飲むとジュースのように甘いので、ジュースとしても売られていますが、樹液は火にかけて煮詰めないと半日で発酵してヤシ酒になり、さらに酒を半日放置すると酔になります。

カンボジアでは乾季（11月上旬～5月上旬）にサトウヤシの樹液採取が行われます。サトウヤシからの収入は農家にとって貴重であり50本の成木があれば、一家10人の生計が成り立つといわれるほどの収入をもたらします。ただ植えてから20年以上たないと樹液が取れないことから、親は子のため、また老後のために植えると言われています。

サトウヤシは砂糖や酒ができるだけでなく、樹の部分は加工してコーヒーカップやソーサー、箸にもなって売られています。煮詰められ固められた砂糖は、1パック0.5～1ドル、ジュースも1ドルくらいであり、コーヒーカップは3ドルくらいであり、現地の農民の収入としては大きいものです。ちなみに、農民1人当たり1日の収入は1ドルと言われ、その意味では大きな収入源です。

東南アジアのヤシは、種類がかなりありますが、サトウヤシ、ココヤシ（ココナツミルクが取れるヤシ）、パームヤシ（パームオイルを採取するヤシで天然油脂原料として大量にプランテーションで栽培される）が代表的です。

カネミ油症患者から見た荒木町農薬被害事件

高山 美子

カネミ油症患者である私高山美子は橋田沙弓先生から 荒木町でかつてダイオキシン汚染が大問題になって、現在もなお重大な被害が続いていることを 知りました。大変ショックを受け激しい憤りを覚えました。

昭和43年の1月北九州市小倉北区西港町にあるカネミ倉庫(株)が製造した米ぬか油に猛毒のダイオキシン汚染事件が発生した。西日本一帯に被害が広がり保健所や病院は大騒ぎになった。マスコミがようやく発表したのが43年10月10日朝日新聞の記者がいち早く書いて世間が慌てた。

私はこの日、自分自身もこの油を食べていた被害者であることがわかった。20才の私は人生お先真っ暗で、死の恐怖におびえ続け、現在61才を迎えてなお苦しんでいる。

ダイオキシン汚染事件の被害者が久留米市荒木町に沢山発生し死者が出ているが、こちらも同じ原因物質のカネミ(株)製造のPCBであったことがわかったのは、つい最近でお互いの体にある被害状態が全くよくにているのに驚いた。

荒木町では、農薬工場の三西化学工業(株)が垂れ流した汚染された排水と空气中に排気されたダイオキシンが風に流され荒木駅のホームにいた大勢の人、近くに住んでいる人々に 襲いかかった。

カネミ油症の被害が世間に知れた時よりさかのぼること4年前。なぜ荒木町で起きたダイオキシン汚染事件が明るみにされなかったか。なぜ原因物質の特定をせずに住民を見殺しにしたか。解決され改善されていたならそのあと起きたカネミ油症事件はなかったのに。

悔しく腹立たしく、思うたびに泣けてくる。私の夫を返してほしい。ダイオキシンの猛毒で殺された52才の夫を返して。

日本の国が高度成長を続ける時代、人間の命より企業優先であった。命はお金で買えないがその時は軽く考えられ世界で公害が大発生した。今でもその被害者達は苦しみもがいている。

日本は、優しい人が絶滅したのか？それとも良心を持っている人が皆蒸発して消えてしまったのか？

もし何処かにまだ人間の心を忘れずに、声を上げてくれる人々が生き延びていたら、お願いだか

ら助けてください。

そして、今も病で死にかけている荒木町のダイオキシン被害者と今からも続いて行く、多くの被害者が人間らしい暮らしができるようダイオキシン汚染にまみれた土や地下水等から原因物質を取り除いてほしい。

九州新幹線の工事現場から大量に出た高濃度のダイオキシン類は調べが進むほど日本の国が隠して焼いてしまいたい、秘密だらけであった！のだ。

そのひとつは荒木駅が日本軍の軍事物資の積み下ろし駅であったから。有明海から船で物が自由に運び込めて大きな化学工場が近くにあり、危険な化学物質でも自由に造り変えて人間無視の金儲けができる立地条件が揃っている

行政も司法も化学者や被害者である住民までも企業の中に関係しているかのように被害の本当に苦しんでいる声をあげられなかった。

只一部の被害者だけが農薬工場の三西化学工場を相手どって最高裁判所まで訴え闘ったが日本の法律は駄目でなんの助けにもならなかった。

日本の裁判所は なんの為にあるのか日本の司法にかかわっている人、良心を棄ててたいてきするための給料目的で六法全書を眺めているのか。

目を醒まそう！あなたの愛する人もダイオキシンにまみれているのに。後のち世界から日本が環境問題で袋だたきにならない前に。まだまだ間に合うのでは！三井(株)さんは、もう反省され今も汚染された荒木町のダイオキシン類を処分したくて日夜頭をひねってますよ。

枯れ葉剤をベトナムでまいて取り返しのつかない人類最悪の事態を起こした関係者。日本の知られたくない恥の闇枯れ葉剤、久留米市荒木町で農地にまく除草剤や国有林の下草を枯らす農薬に造り変える実験場所であったといわれている。

そして、たくさんの農薬類がここから世界中へ送りだされ地球上にまかれた。人類はなんと無知な恐ろしい生き物であろう。私達もその一人である。

開発された年

1940年	テップ
1944年	パラチオン
1950年	マラソン
1952年	ダイアジノン

久留米のダイオキシン年表・早見表

		カネミ油症事件	農薬事件	枯葉剤
1881	明 14	ドイツでPCBの合成法開発	48%2、4、5-T生産時に不純物として猛毒の2、3、7、8 44%2、4-D 四塩化ダイオキシンが発生	
1930	昭和 5	この頃からPCBの使用量増加		
1937	昭和 12	アメリカのドリンカーがPCBの毒性を報告	1941年 米国陸軍化学戦部隊が着手	1945年6月 米国メリーランド州で枯葉剤が陸軍生物化学兵器研究所で製造された。
1954	昭和 29	日本で鐘淵化学工業(株)がPCB製造開始		
1956	昭和 31	カネミ倉庫が農林省指定倉庫になる	日本で稲作や食糧生産に大打撃を与える為、六大都市周辺にまく作戦を立てる	
1957	昭和 32	PCBの販売数量を徐々に拡げる	1945年8月広島、長崎に原爆投下、日本国降参により枯葉剤作戦とん挫	
1960		ベトナム戦争始まる		
1961	昭和 36	カネミ倉庫が米ぬか油の精製開始。PCBをノーカーボン紙に使う(鐘淵化学工業)	5月三光化学操業開始、被害甚大	
1961	昭和 36	熊本大学教授野村茂氏住民検診	1961~62 沖縄北部訓練場に枯葉剤まく 1961年8月ベトナム、コンツム北部、国道14号沿山林と農地で枯葉剤散布。植物は2時間以内に枯死。	
1962	昭和 37	12月 清川正三子さん家族 荒木駅長記録日記にPCP被害が詳細記		
1963	昭和 38	夏、有馬弁護士三西化学農薬公害裁判担当農薬PCPが「指定農薬」として使用規制された。この頃から1964年にかけて油症の症状が出始める。8月までは三光化学がPCP BHCその他の農薬の粒剤加工のずさんな操業を行っている。	1962年春 暗号ランチハンド作戦開始 「牧場の草刈人」という意味 1962年8月~10月 カマウ岬の5つの河川沿いのマングローブの林他 3240ヘクタール枯死	
1963	昭和 38	10月から三西化学がPCP・CNP(MO)増産	1964年エージェントブルー/エージェントパープル	
1965	昭和 40	3/6 三西化学PCB143660kg追加	1965年エージェントオレンジ/エージェントホワイト	
1966	昭 41	カネミ倉庫の脱臭係従業員に油症疾患出始める	7/28 三西化学で熱媒体として使っていたPCBによる蒸気洩事故発生	
1967	昭 42	北ベトナム政府は枯葉剤に猛毒が入っているという記録映画製作、散布を止めるよう訴えたが、米国は無害だと主張。散布を続けた。		
1968	昭 43	1/29 カネミ倉庫内でPCBを循環させていた蛇管に溶接棒が当り、孔が開き高温で大量のPCBが米ぬか油に混じる。		
		計10年間に約666万リットルの枯葉剤を散布。1961~62年沖縄にも枯葉剤がまかれた。		
		1968~1970年にかけて2-4-5-Tの原体を計90t製造。日本でも少なめに見積もっても7万tの製造残さがある。		
		1/31 PCBの減った分550kgを補給	複合汚染、長期微量による慢性	
		2/2~10 米ぬか油をカネクロール(PCB)混入のまま再加熱脱臭		
		2/7 PCBが熱せられダイオキシンが大量に含まれた米ぬか油のしぼりかす(ダーク油)をえさに食べたニトリが大量に死に出した。		
環境ホルモン(外因性内分泌錯乱物質)				

1968	昭和 43	2/15 築上郡でもニワトリが大量に死んだ。カネミ製のダーク油入りえさを食べたニワトリ岡山以西16県、317養鶏場で計210万羽が被害にあい、内約67万羽が死ぬ。この年4月11日、朝日新聞がカネミ製と報道。	沖縄 北部訓練場横「やんばるの森」で天然記念部物のリュウキュウヤマガメ、ナミエガエル、イボイモリの目や口の周りがただれたり、脚の指が溶けるなどの異変(琉球新報 2007/7/12 朝刊)
		8/15 九州大学病院五島広安講師が患者に「米ぬ油を食べたことが共通」説明。高山美子2月頃から体調悪化 5月連休頃より体表にブツブツした物が現れ頭痛、微熱が続く。	
		1968/10/10 朝日新聞夕刊にてカネミ油が原因であるとスクープ記事を出した。	
		1968/10/11 高山美子いつも利用している松尾食堂がカネミ油で料理していることを確認した。	
		1968/10/11 県衛生部厚生省に米ぬか油中毒事件発生報告	
		市衛生局はカネミ倉庫に販売中止勧告。カネミ倉庫勧告無視	
		10/14 九州大学福岡県合同「油症研究班」設置	
		10/15 北九州市カネミ倉庫に1ヶ月間営業停止命令	
1970	昭和 43	10/18 九州大学に油症外来開設認定 11人	1970 米国FDA(食品医薬品局より2, 4, 5-Tが奇形児出産の原因とした。ベトナム帰還兵のガン多発。その子の異常多発。1971年10月 米軍枯葉剤散布をやめた。しかし、南ベトナム政権は1975年までまき続けた。
1971	昭和 46	東南アジア向けの製品を造った同時期に清川正三子さん大出血。ヒマラヤ杉枯死BHC使用禁止	
		10/19 油症診断基準を決める	
1972	昭和 47	10月中旬五島玉之浦診療所で吉野医師(長崎大医学部派遣)がカネミ油症と届け出た。保健所長はこれを誤診と発表。	
		環境庁の委託による三西化学に福岡県公害課によって立入調査し、PCB汚染が発覚した	
1972	昭和 47	12月14日 三西化学工場長が、不注意から場外にPCBが排出されたことを認めた。	
1973	昭和 48	10/22 高知県衛生研究所 カネミ油から有機塩素物質検出したと厚生省に報告	三井化学大牟田で労働者人体実験2, 4, 5-TやPCPを背中に貼りつけその調査で計39人が労災認定を受けた。
		10/24 九州大にて死産の黒い赤ちゃんと田川の妊産婦胎盤からPCBを検出	12/21 清川正三子氏一家。三西化学を提訴
		厚生省が米ぬか油の試験項目と疫学調査事項示す	
1979	昭和 54	5月台湾でカネカのPCB混入で台湾油症発生。2022人の患者	
1981	昭和 56	血中PCQを油症基準に追加	
1983	昭和 58	7月イタリアのセバスで農薬工場爆発事故	日本名NAC製造中MICガス(メチル イソシアネート) 三西化学、操業停止される
1984	昭和 59	12/2 インド・マドラプラディッシュ州都ボハールの農薬工場事故2000人死亡、中毒患者5万人超	
1994	平成 6	上記死者、続発性症含4500人	
2008	平成 20	1月 三西化学跡地にて人知れず存在する枯れ葉剤残さ調査なく放置される現状を正せ	

カネミ油症 2009年2月24日現在の患者数

福岡県内の生存認定患者は585人全国約1900人 未認定をふくめ被害者は把握出来ないほど多数。

参考文献

- 三西化学農薬被害事件裁判資料集(葦書房(有)) 三西化学農薬被害事件裁判資料集編集委員会 2004/4/1
- 検証・カネミ油症事件(緑風出版) 川名英之 2005/1/25
- 三西化学のダイオキシン農薬汚染について 市民オンブズパースンくるめ 福田洋一 2009/1/15
- 日経エコロジー・インサイドアウト ダイオキシン問題は過去のものか 井部正之 2008/2月号

郷土の樹木

ヤマザクラ 猪上 信義

皆さんよくご存知の木で、日当たりのよい山野に広く見られる落葉高木です。樹皮は暗褐色で、横長の皮目(ヒコ)があります。葉は長楕円形で互生し、縁には鋭い鋸歯があり、先は鋭く尖ります。葉柄の上部又は葉の下部に蜜腺があるのはサクラに共通した特徴です。3月下旬から4月上旬に、赤みを帯びた新葉とともに花が咲きます。花は直径5cm前後の5弁花で散房花序につき、花びらは淡紅白色で、先が少し切れ込みます。果実は直径9mmくらいで、赤色を経て、6月ごろ紫黒色に熟します。日本の関東以西九州までと朝鮮半島南部に自生します。

樹皮は革質で水をはじく上、丈夫で軽いため、樺細工として背負籠(シヨイコ)、弁当箱、煙草入れなどに重宝されました。材は緻密で粘りがあり、褐色のものが多いのですが、赤っぽいもの、黄色っぽいもの、白っぽいものなどバラツキがあり、建築材や様々な器具、楽器などに使われます。特に家具材として有名ですが、今では数が少なく、ミズメを代替とすることが多く、高級品となっています。また江戸時代頃に最も重要であったのは、版木としての利用でした。すなわち和本や浮世絵はこの木に字や絵を彫り、和紙に刷ったものです。また押し寿司や和菓子の木型も、主にこの木で作られています。

昔から花を鑑賞する慣わしがあったことは、在原業平の歌「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」でも推察されます。また奈良県吉野地方の桜は、室町時代以降ここを訪れて花を愛でた人がさらに献木するというで広まったといわれています。江戸時代にはパッと咲いてパッと散る様が武士道と関連付けられ、人気定着しました。いまでもそ花見といえば公園などに多いソメイヨシノが定番ですが、これは江戸時代後期に伊豆諸島に多いオオシマザクラと、本州から九州までの深山に分布するエドヒガンが掛け合わさったものです。これは花だけが先に咲くため

ヤマザクラより豪華に見え、その後日露戦争の戦勝記念で各地に植えられたことなどで、今日まで人気が続いています。

一般に桜は枝が折れたり、切られたりするとそこから腐れが入り、衰弱しやすいことから、「サクラ切るバカ、ウメ切らぬバカ」という言い回しがあります。またソメイヨシノは、脇枝が出て樹形が乱れたり、天狗巣病にかかりやすくそのまま放置すると花が咲かなくなり衰弱することがあります。その場合に該当する枝を小さいうちに切り、滑らかな切り口に癒合促進剤を塗ると、カルスができて2~3年で傷口はふさがり、樹形の乱れや病気の進行を抑えることが出来ます。

10年ほど前まで星野村石割岳の北斜面にヤマザクラの群生地がありました。しかし大型台風などが原因で衰えて枯れ、ケヤキやミズキ、アカガシなどの林に変わりつつあります。ヤマザクラは陽樹ですので、種が落ちて発芽しても、あまり明るくない林の中では大きく成長することは出来ません。それが「桜は一代」といわれるゆえんです。

久留米市では山本町耳納の「浅井の一本桜」が有名です。これは耳納山麓の池の土手にあるもので、昭和天皇の御大典記念(1928年)で植えられたものだそうです。どれくらいの大きさの木が植えられたのか不明ですが、80数年の樹齢と思われま

その近くにある県の森林林業技術センターには上記のほか、オオヤマザクラ、カスミザクラ、カンヒザクラなどの野生種やギョイコウ、カンザン、タイハクなど60種以上の園芸品種が植えられ、3月中旬から5月上旬までと11月頃には、いずれかの花が見られます。平日でしたら許可を受けた上で鑑賞できます。



ヤマザクラ

生き物に魅せられて**フチグロトゲエダシャクの巻 松永紀代子**

昨年、早春の冬枯れの河川敷でこの時期にだけ成虫になる蛾のことをS先生から聞いた。

どんな蛾だろう。川原の土手を歩いてみたら、枯れ草色のものが草丈を高速で飛んだ。あれ？すぐに背景にまぎれてしまう。また1頭。今度は強い風で地面に降りた。そっと近づいた。触覚が立派な♂の蛾が止まっていた。枯れ草色の地に黒い縁取り、それに金色の筋。なんてきれい！シャッターを押して近づくと敏感に反応。フチグロは消えていた。

今年も是非会いたい。うわあ、何頭も飛んでいる！高速で飛んでいた1頭が地面に降りると、小刻みに翅を震わせて、草の間にもぐって止まった。メスとの交尾だ。翅も口吻も退化したメスがいた。

生きものの進化の不思議とまた新たなものとの出会い、楽しい場所がまた一つ増えた。

ひととき	動物笑い話	その48
	エビとカニ	

「俺達エビは、縁起物として結婚式や正月などのお目出度い席に出される。腰が曲がっている事が長寿を意味するらしい」「立派な頭胸部と長い触角も魅力的だからね」とカニ。「腰が曲がっていなかったら捕われずにすむのにさ」「俺達カニは扁平だし、水底を横向きに這いずって、ハサミを挙げると縁も切りそうだし、お手上げ状態に見えるから縁起物にならなかったかも」「俺達、危険が迫ると腰を使って瞬時に勢い良くバックするのが難点、後ろに目が無いから。先日、思い切り岩に腰をぶつけて益々腰が曲がった感じだよ。背骨が折れているのかも」「アホ、背骨があるわけないだろ。エビ一級に馬鹿だね。それで長生き出来るんだ。そんな馬鹿はタイに食べられたら」。言い過ぎに気付いたカニは平身低頭して、「かにん」と素直(?)にエビに謝った。

*エビ、カニ共に甲殻類に属し、体は固いキチン質で覆われている。(Y. Y)

例会報告**高良山キノコ観察会報告****角 正博**

去る2008年11月30日(日)に第364回例会高良山キノコ観察ときのこ汁会を行いました。観察ルートは、竹の子コースより上り、奥の院を回って森林公園で昼食、帰りはつつじ公園から後谷コースを下りてきました。途中、東屋休憩所に至る手前で、頭上をムササビが滑空していききました。一同から歓声が上がりました。今回、特筆すべきは、「高良山用きのご観察ビンゴ」(製作:角)でした。遊び方は別紙「高良山系の晩秋から冬の主なキノコ一覧表(初級者編)」から、当日、観察できそうなキノコの名前を選び、5×5のビンゴのマス目に記入して、マス目を全て埋めます(中央は、年中観察できるカワラタケです。)。当日観察したキノコの名前がビンゴのマス目にあつたら、キノコの名前を丸印で囲みます。あとは通常のビンゴと変わりません。景品として、きのこグッズ等を先着10名分用意しました。参加された皆さんは、「きのこ観察ビンゴ」で一段とキノコ探しに熱が入ったようで、キノコ観察会は好評のうちに終了しました。

以下に当日観察できたキノコリストをあげます。

1. *Xeromphalina campanella* ヒメカバイロタケ(姫蒲色茸)(スギ倒木)
2. *Naematoloma fasciculare* ニガクリタケ(苦栗茸)(スギ倒木)
3. *Pholiota aurivella* ヌメリスギタケモドキ(滑杉茸擬)(広葉樹切株)
4. イグチ科の1種
5. *Xylobolus spectabilis* モミジウロコタケ(紅葉鱗茸)(広葉樹倒木)
6. *Stereum hirsutum* キウロコタケ(黄鱗茸)(広葉樹立ち枯れ)
7. *Microporus flabelliformis* ウチワタケ(団扇茸)(広葉樹倒木)
8. *Oxyporus cuneatus* ヒメシロカイメンタ

- ケ (姫白海綿茸) (スギ切株)
9. *Coriolus versicolor* カワラタケ (瓦茸) (広葉樹倒木)
10. *Coriolus brevis* ニクウスバタケ (肉薄菌茸) (広葉樹倒木)
11. *Lenzites betulina* カイガラタケ (貝殻茸) (広葉樹倒木)
12. *Trichaptum abietinum* シハイタケ (紫背茸) (アカマツ立ち枯れ)
13. *Trichaptum bifforme* ハカワラタケ (歯瓦茸) (サクラ落枝)
14. *Bjerkandera adusta* ヤケイロタケ (焼色茸) (広葉樹立ち枯れ)
15. *Daedaleopsis styracina* エゴノキタケ (エゴノキ倒木)
16. *Daedaleopsis purpurea* ミイロアミタケ (三色網茸) (広葉樹倒木)
17. *Amauroderma rugosum* コマタケ (独楽茸) (ブナ科林内地上) 老菌
18. *Elfvigia applanata* コフキササルノコシカケ (粉吹猿の腰掛) (広葉樹立ち木)
19. *Cyclomyces fuscus* ワヒダタケ (輪襷茸) (広葉樹倒木)
20. *Phellinus gilvus* ネンドタケ (粘土茸) (広葉樹立ち枯れ)
21. *Hydnophlebia chrysorhiza* ヒイロハリタケ (緋色針茸) (広葉樹落枝)
22. *Pulcherricium caeruleum* アイコウヤクタケ (藍膏薬茸) (広葉樹落枝)
23. *Astraeus hygrometricus* ツチグリ (土栗) (路傍土崖)
24. *Scleroderma areolatum* ヒメカタショウロ (姫硬松露) (林内地上)
25. *Calostoma japonicum* クチベニタケ (口紅茸) (路傍土崖)
26. *Phallus impudicus* スッポンタケ (鼈茸) (スギ林路傍、シイカシ林路傍)
27. 腹菌亜綱の1種 (シイカシ林内地上: 子実体は球形~偏球形、ピンク色。オレンジ色

の菌糸束が有る。)

28. *Auricularia polytricha* アラゲキクラゲ (粗毛木耳) (広葉樹立ち枯れ)
29. *Exidia glandulosa* ヒメキクラゲ (姫木耳) (広葉樹落枝)
30. *Cordierites frondosa* クロハナビラタケ (黒花卉茸) (広葉樹倒木)
31. *Xylaria polymorpha* マメザヤタケ (豆莢茸) (広葉樹立ち枯れ木の地際)

○参加者の感想

山川小4年 田町美杜
いろんなきのこがみれてたのしかったです。

山川小1年 たまちつきほ
たのしくてみたこともないきのこがありましたおもしろかったです。

山川町 たまちなほこ
きのこ汁、きのこごはん、おいしかったです。ありがとうございます。久々に、森と対話できてしかも智のあるガイドがあつてとっても、勉強になりました。

篠山小4年 大和千紗
キノコや虫の見わけ方や種類がわかりました。ビンゴはWリーチだったけどと中で十人になってしまったので、くやしかったです。

附属小1年 えざきげんき
すばらしく楽しい秋の一日でした。ありがとうございます。

高良内町 江崎 紀美恵
いろいろなきのこがあつて、たのしかった。

初めて参加して、高良山を楽しみました。近くに、こんなおもしろい場所があつたなんて！又、参加したいです。

篠山小4年 谷 すずの
大きなきのこや小さなきのこがいっぱいあつて、ビンゴゲームのマスに○を書くのに忙しかったです。あー楽しかった。きのこご飯があまりおいしかったので、おかわりしてしまいました。きのこバンザイ！

高良内町 瀬戸口 清人
 普段 あまり気にしていなかったのですが、山には様々なきのこがあるのだと思いました。また、きのこのことを知るきっかけができて、ありがとうございました。

国分町 内藤 俊雄
 いい企画でした。キノコの食事、とてもおいしくいただきました。ありがとうございました。

内藤 洋子
 森林浴をたっぷりして元気になった気持ちがしました。久留米に、ずっと住んでいるのに初めて歩きましたお世話を頂き、ありがとうございました。キノコのことが少しわかりました。

ネイチャーゲームと冬の自然観察会感想文

笠 陽子

12月14日曜日、高良山にてネイチャーゲームと冬の自然観察会を行いました。当日は大人と子供十数名で高良内幼稚園駐車場を出発し、竹の子コースを歩いて森林公園をめざしました。目的地にて、银杏飯と豚汁の昼食を参加者全員で頂いた後、自然素材のツリー作りとネイチャーゲーム「落ち葉のジャンケン」を行いました。ツリー作りでは、ダイオウショウの大きなまつぼっくりに様々な材料（ヒイラギナンテン・コバノボタンヅル・ツツジの葉・ムラサキシキブ・コケ等）を各自の好みで接着し、バラエティーに富んだ作品が並びました。ネイチャーゲームは、「落ち葉のジャンケン」。これは違う種類の落ち葉を各自数枚探し集めて行うゲームでした。冬は観察できる生物は少ないですが、工作やゲームを通じて自然により親しむ事の出来た一日でした。



参加者全員での記念写真

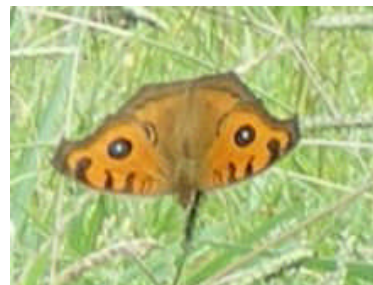
2008年上津町浦山公園観察ノート

大木 武彦

私が一昨年2007年10月、上津町の浦山公園の散歩中にタテハモドキに出会ったことは本誌2008年7月1日号に述べたところです。そこで昨年2008年は新年早々にズーム付きデジタルカメラを購入して、年間を通して浦山公園の生き物を観察、撮影することにしました。最初にカメラに収めたのが4月15日のクマバチ、最終は10月16日のクマコノマチョウでした。件のタテハモドキに関しては10月10日に池田池上の堤防の草地にしっかりと定着した数頭を確認、撮影することが出来ました。結局2008年中にカメラに収めることが出来たのは32種類の生き物たちでした。以下に列挙します。

アオスジアゲハ、アゲハチョウ、ナガサキアゲハ、ゴマダラチョウ、コムスジ、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、キタテハ、タテハモドキ、ツマグロヒョウモン、クロコノマチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ヒカゲチョウ、イチモンジセセリ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、コモエガ、スズメバチ、クマバチ、シオカラトンボ、カマキリ、ベニクチカメムシ幼虫、ジョロウグモ、カササギ、マガモ、アオサギ、シラサギ、ウシガエル、アカミミガメ。カメラには収めなかったがセミ類、甲虫類、小鳥類も観られました。

このように見てみると、何気ない散歩の途中でも、ちょっと気をつけて観ていると浦山公園内だけでも随分と生き物たちが棲息しているものだと認識を新たにしました。本年も、更なる観察を続けられればと思います。なお、昨年の観察写真は編集して上津校区文化祭に一理科展「浦山公園の生き物たち」として展示発表しました。



タテハモドキ 08/10/10 浦山公園
 池田池上 堤防草地

ドイツ兵捕虜と久留米

山口 淳

第1次世界大戦の大正3年に、日本は中国・青島のドイツの要塞を攻撃し、約4700名の将兵を捕虜として日本国内に收容した。久留米でも最初梅林寺等が收容所に充てられたが、大正4年6月から大正8年3月12日まで、国分町の陸軍の「久留米衛戍病院」の一角に、「久留米俘虜收容所」が設けられ1300人以上が收容された。現在は久留米大学医療センター敷地となっている。

捕虜たちは当時のハーグ条約に基づいて人道的に扱われた。このため收容所内においては、スポーツ・演劇・音楽・各種講演活動が行われている。また、收容所外への遠足もあり、高良山・発心公園、遠くは八女方面までも出かけている。夏には筑後川で水泳も行われている。さらに、終戦の頃には、市内のゴム会社・製粉工場等へ仕事にも出かけている。

このような「自由」が与えられてはいるが、やはり捕虜である。收容期間中に11人が亡くなり、脱走や、精神を病む者もいた。多くの人間が、狭くて壁で囲まれた空間に5年ほども閉じ込められているという事実は間違いないのである。

この收容所の様子は、平成9年に久留米市が開催した「ドイツ人俘虜と久留米」展実施以降、その詳細がようやく明らかになってきた。市内に残る資料の調査に加え、ドイツ国内の捕虜の子孫や、資料収集家のご協力があったのである。

中でも、捕虜エルンスト・クルーゲが残した日記は、久留米收容所内の出来事や人間関係までが微妙に軽妙に、しかし、しっかりと書かれており、この研究に最も寄与している。この日記も含めて、久留米俘虜收容所に関しては、久留米市教育委員会から4冊の報告書が出版されており、詳細はそれに拠りたい

山口淳氏の講演を聴いて

大木 武彦

久留米俘虜收容所については、捕虜によるゴム接合技術の会得や、久留米高等女学校での演奏会とその後の関係者の明善高等学校への招待など、断片的には聞いていましたが、今回の講演会を聴いて当時の收容所での詳しい内容がよくわかりました。

当時はまだ捕虜に対するハーグ条約がかなり遵守されていたことがうかがえます。

いつの時代も上に立つ人達にはノーブレスオブライジの精神を持っていただきたいものです。

昭和初期小学校の頃唄った歌の一節

野口 勝司

1. ドイツドイツの悪ダック 故郷を離れて遥遥と漸く出て来た青島で 捕虜になるとはつゆ知らず
2. ドイツが日本に勝つならば 電信柱に花が咲き石の地蔵さんがもの言うて 絵に描いたダルマさんが踊りだす

(参考) 当時のアジア東部、太平洋諸島の情勢

①欧米の植民地

仏 インドシナ半島 広州湾

英 ビルマ・マレー半島 威海衛

独 膠州湾 南洋群島

露 旅順 大連

米 比島 グアム

和 ジャワ 東印度諸島

②中国

清朝倒れ中華民国誕生 1912 (明45)

③露

ロマノフ王朝倒れ共産主義政権 1917 (大6)

(参考)

第1時世界大戦

独に宣戦 1914 (大3)

終了 1918 (大7)

上の歌と同じ調子の歌が博多ニワカの歌です。一首もうしもうし車屋さん ここから柳町や何ぼです。大勉強で5銭です 5厘に負けとけアカチョコベ

2009年度久留米の自然を守る会総会

○日時：2009年1月24日(土) 13:30～14:30

○場所：久留米市役所3階302会議室

1、2009年度役員

会長 橋田沙弓 副会長 河内俊英 国分謙一 事務局 笠陽子 宮原洋子 会計 宮原洋子

幹事 角 正博 丸山由紀子 福田万里子 山川英毅 笠陽子 宮原洋子

会計監査 高山美子 野口勝司

顧問 松富士将和 名誉顧問 丹部竹志 森田公造

会報編集 橋田沙弓・丸山由紀子・宮原洋子・笠陽子

2、2008年度活動報告

例会No.	月 日	表題・内容	参加数	スタッフ参加者
353	1月20日	総会 講演会「身近な環境問題」 講師 河内俊英 会場えーるピア	18名	河内 米田 丸山 福田 角 行徳 古賀
354	2月9日	講演会 延期		福田 行徳 古賀
	3月29日	筑後川野草を愉しむ会の事前準備 野草採集会・竹の器作成・調味料調達	6名	米田 行徳 古賀 橋田 国分 杉田 今村
355	3月30日	筑後川野草を愉しむ会 共催 筑後川まるごと博物館	18名	今村 米田 橋田 福田 古賀 行徳
356	4月29日	樹木の名札付けとだご汁会 高良山・南周り遊歩道	13名	猪上 河内 行徳 丸山 古賀 角 事前準備 黒岩 行徳 橋田 杉田
357	5月11日	高良山バードウィーク探鳥会 共催:日本野鳥の会筑後支部	46名	米田 丸山 橋田
358	6月7日	ホテルの夕べ 高良内コミュニティー	36名	国分 橋田 河内 福田 古賀
359	6月29日	キノコ観察会とキノコ汁会 高良山松葉諏訪池周辺	8名	金子 橋田 角
360	7月20日	水辺の自然観察会と魚ツチング 共催 筑後川発見館くるめウス	54名	橋田 河内 米田 丸山 猪上 古賀
361	9月13日	筑後川観月会 バンド・トラップス 天体観測指導 吉田哲磨 熊谷寿美子 共催:筑後川まるごと博物館	30名	橋田 米田 国分 丸山 今村 行徳 福田 古賀
362	10月12日	ネイチャーゲームと自然観察会 共催くるめネイチャーゲームの会・久留米市	11名	橋田 行徳 古賀
363	11月9日	高良山バードウォッチングウィーク探鳥会 共催 日本野鳥の会筑後支部	15名	米田 丸山 行徳 橋田
364	11月30日	キノコ観察会とキノコ汁会 高良山・四季の森経由 共催久留米市	35名	橋田 米田 行徳 角 古賀
365	12月14日	ネイチャーゲームと冬の自然観察会 高良山 共催くるめネイチャーゲームの会	16名	橋田 米田 行徳 古賀

他団体への協力	5月5日	チビッコ天国 木のおもちゃづくり	松富士 行徳 橋田 行徳 古賀
	6月3日	環境フェア 木のおもちゃづくり	
	7月27日 8月9・16・23日	こーら川子ども探検隊講師	橋田 米田 行徳
	11月23日	緑のハイキング講師	橋田 米田 行徳 角
	11月22日	JC主催「久留米光の祭典」参加 久留米の自然を守る会のブース展示	橋田 行徳 古賀 国分 笠 河内 今村 荒巻 (昆虫標本箱提供)

*その他交流事業

- ・6/19 篠山小 (橋田・山川・行徳) ・6/27 南薫小 (橋田) ・10/9 日田市夜明 (橋田・行徳)
- ・10/18~19 杉ノ木キャンパス (橋田・米田・行徳) ・10/30 日田市静修小 (橋田・行徳)
- ・12/25 朝倉市志波小 (橋田)

3、2008年度決算書

☆収入

1、前期繰越 (現金=18,222、預金=249,748)	267,970
2、実収入	427,479
①会費 (現金=70,000、振込=76,000) 146,000	
2007年分 (5人) = 10,000	
2008年分 (64人) =128,000	
2009年分 (4人) = 8,000	
②例会・行事費	31,070
③環境教育読本代(送料含む)	56,600
④カンバ他 (利子 451円含む)	193,809

収入合計	695,449
------	---------

☆支出

1、会報作成 (印刷・プリンティングコガ、編集・古賀信夫)	200,935
#100号 (08.4.1) =93,230	
#101号 (08.7.1) =36,000	
#102号 (08.10.1) =35,905	
#103号 (09.1.1) =35,800	
2、通信費 (#99号の送料含む)	35,540
3、印刷・コピー費 (会報以外)	4,640
4、事務費 (HP更新、ロッカー使用料)	15,600
5、文具費	6,366
6、行事費	64,480
7、予備費 (行徳氏・お香典 3000、環境教育読本 126,600、備品代)	289,600

支出合計	617,161
------	---------

☆預金残高

預金	78,288
----	--------

残高は次年度に繰り越します

4、2009年度活動計画

例会No.	月日	表題・内容	場所	担当
366	1月24日	総会・講演会 講師 山口淳(文化財保護課)	市役所 3F 会議室	事務局、幹事全員
367	2月15日	草木染め 講師 松藤洋子	えーるピア 4F 美術室	笠、橋田、宮原
	3月28日	事前準備 野草採集・竹の器作成・調味料調達	筑後川流域周辺	事務局、幹事全員
368	3月29日	筑後川春の野草を愉しむ会 共催 筑後川まるごと博物館	くるめウス	
369	5月10日	高良山バードウィーク探鳥会 共催 日本野鳥の会筑後支部	高良山四季の森	松富士、橋田、丸山、 宮原、笠
370	6月28日	高良台キノコ観察会とキノコ汁会	高良台松葉諏訪池 周辺と多目的ホール	金子、橋田、宮原、 笠 角、丸山
371	7月20日	水辺の自然観察会と魚ッチング 共催 筑後川発見館くるめウス	くるめウス	山川、橋田、笠 丸山、宮原
372	9月26日	筑後川観月会 バンド・トラップス 天体観測指導：吉田哲磨・熊谷寿美子	くるめウス	事務局、幹事全員
373	10月11日	ネイチャーゲームと自然観察会 共催 くるめネイチャーゲームの会	高良山四季の森	橋田、宮原、笠 丸山
374	11月8日	高良山バードウォッチングウィーク探鳥会 共催 日本野鳥の会筑後支部	高良山四季の森	松富士、橋田、笠、 宮原
375	12月6日	高良山キノコ観察会とキノコ汁会	高良山四季の森	角、橋田、行徳、笠 丸山、宮原、

他団体への協力事業	5月5日	チビッコ天国 (木のおもちゃづくり)	鳥類センター	松富士、橋田
	6月7日	環境フェア (木のおもちゃづくり) 久留米の自然と環境展示	百年公園	松富士、橋田 今村、笠
	7月～8月 4回	こーら川子ども探検隊	くるめウス 高良川	山川、橋田
	11月23日	緑のハイキング講師	高良山	猪上、角、橋田

*その他交流事業

1. 市内小学校ゲストティーチャー

5, 2009年度 予算書

☆収入	
1、前年度繰越	78,288
2、会費 (85×@2,000)	170,000
3、例会参加費	30,000
4、環境教育読本代金(50×@2,000)	100,000
5、カンパ他(備品代立替、110,000 含む)	121,000
収入合計	499,288
☆支出	
1、会報作成費 (4×@36,000)	144,000
2、通信費	39,000
3、印刷・コピー	5,000
4、文具代	5,000
5、事務局費	20,000
6、行事費	60,000
7、予備費	226,288
支出合計	499,288

2008年度特別会計決算

環境教育読本「ひとつの川から見えるもの」1000冊発行分に係る収支を特別会計とする。

2008年12月31日現在

収入		1,837,500
①エフコープ環境助成金	300,000	
②2007年度当会会計より繰入金	300,000	
③2008年度当会会計より繰入金	126,000	
④本販売代金	1,111,500	
支出	1000冊分印刷代金	1,837,500

*教育読本残数・・・当会保存分	266冊		
書店預け分	30冊	計	296冊

会計監査報告

2008年度会計並びに特別会計について、精査いたしましたところ、いずれも適正に執行されていたことを報告します。

監査日 2009年1月20日

会計監事 高山美子 印

会計監査 野口勝司 印

《行事案内》

◇ 第369回例会:

高良山バードウィーク探鳥会

高良山四季の森として整備された後谷コースや環境保全林の新緑の中で、オオルリやキビタキなどの美しいさえずりを楽しみませんか。

- [日 時]: 5月10日(日) 雨天中止
 [集合・解散]: 9:00・14:30 高良内幼稚園
 [交通]: 西鉄バス高良内・竹の子行きで、終点竹の子バス停下車、徒歩1分
 [持ち物]: 弁当、水筒、筆記用具あれば双眼鏡
 [参加費]: 100円
 [共催]: 日本野鳥の会筑後支部、久留米市農政庁生産流通課、県朝倉農林事務所

◇ 第370回例会:

きのこの自然観察ときのご汁会

きのこの自然観察ときのご汁会を行います。指導は金子周平先生(県森林林業技術センター)です。

- [日 時]: 6月28日(日) 小雨決行
 [集合・解散]: 上津小学校運動場横9時、14時半現地解散
 [参加費]: 300円
 [持ち物]: 筆記用具、長袖、長ズボン、長靴

◇ 第371回例会:

水辺の自然観察会と魚ツチング

高良川の水辺の自然観察会を行っています。筑後川発見館くるめウス前、さくら橋下の水生生物(水生昆虫、魚類など)、河川敷の植物や昆虫などの観察を行います。ご自由に参加ください。

- [日 時]: 7月20日(月・祭日) 小雨決行
 [集合・解散]: 9:30・12:30 くるめウス
 [参加費]: 無料 [持ち物]: 観察・採取用具、筆記用具、タオル、長靴、ゴムぞうり又はふる靴、ぬれた場合の着替え、帽子、水筒など
 [共催]: 筑後川まるごと博物館運営委員会

《事務局だより》

事務局より、スタッフ募集のお知らせです。何かボランティアをしてみたい方、自然保護に関心のある方など、どなたでも大歓迎です。どうぞ、お気軽にお尋ね下さい。問い合わせ 43-1177(宮原) 21-6576(笠) 「久留米の自然を守る会」ホームページもご覧ください。

<http://kurumenoshizen.net>

1. 会員異動

入会 宮地信文(神崎市)

2. 会費納入について

会費は、会の活動を支える源です。まだ、会費を納入していない人は振替用紙(口座番号01750-1-40114)に年会費2000円をご確認のうえ納入をお願いします。

3. 原稿募集

次号105号は平成21年7月1日発行予定です。原稿のメ切は6月1日です。皆さんの原稿をお待ちします。

4. 幹事会のご案内

幹事会(定例)は原則として毎月第1水曜日の19:00~21:00まで、西町教育集会所で行います。皆さんも気軽にご参加下さい。(5月6日、6月3日、7月1日)

久留米の自然

平成21年4月1日 第104号
 発行 久留米の自然を守る会
 発行者 橋田沙弓
 事務局 〒839-0827
 久留米市山本町豊田 2320-6
 TEL 21-6576 FAX 21-6576(笠)
 印刷(有)プリンティング コガ
 TEL 0944-88-0027 FAX 0944-88-0029